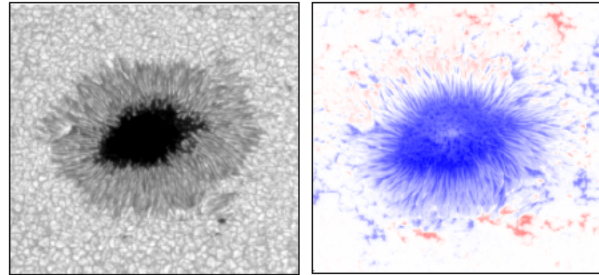


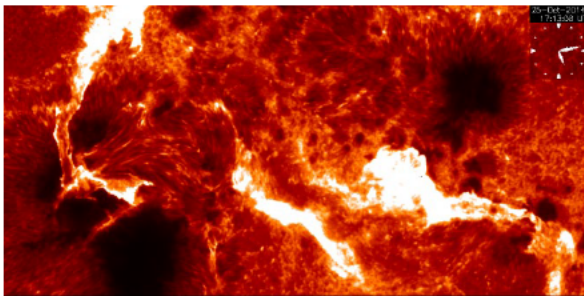
# 太陽活動の謎に迫る 太陽観測衛星 ひので



2013年3月15日、黒点とその磁場  
(赤=N極 青=S極)  
(可視光望遠鏡で撮影)

## 太陽観測衛星「ひので」とは？

「ひので」(Solar-B)は2006年9月23日にM-Vロケット7号機で打ち上げられた日本で3番目の太陽観測衛星です。「ひので」には口径50cmの可視光望遠鏡(SOT)、X線望遠鏡(XRT)、極紫外線撮像分光装置(EIS)の3つの望遠鏡が搭載されています。打ち上げから10年以上が経過しましたが、まだまだ元気に観測し続けます。



2014年10月25日に起きたXクラスフレア  
(可視光望遠鏡で撮影)

## 太陽の磁場と熱いコロナ

「ひので」の目的は太陽上空のコロナという大気層が熱い原因を突き止めることです。太陽表面は約6000℃ですが、太陽コロナはその200倍の100万℃以上もあります。熱源である太陽中心よりも、外側のコロナの方が温かいなんておかしいですよね？でも、そのおかしいことが普通に起きているのが太陽なのです。鍵となるのは磁場の存在です。

「ひので」は太陽面の磁場を精密に測定し、同時にその上空のコロナの様子を観測することで、どのようにして磁場の持つエネルギーがコロナへと運ばれ、加熱しているかを調べます。

他にも、フレアというコロナで起きる爆発をはじめ、いろいろな活動現象を高い解像度で観測し、どうしてそういう現象が起こるのか解明に取り組んでいます。



## 関係者から一言

みなさんこんにちは。「ひので」プロジェクトマネージャの清水敏文です。みなさんが普段目にする太陽は、実は不思議なことがいっぱいあります。フレアという大爆発が太陽で起きると、その影響は地球にまで押し寄せ、人工衛星を故障させることもあります。また、太陽にはおよそ11年の活動周期があり、活動が活発になるとフレアもたくさん起こります。けれども、どうしてこんな爆発が起きるのでしょうか？なぜ活動に周期があるのでしょうか？不思議ですね～。「ひので」衛星は身近な太陽のこんな不思議にも挑戦しています。「ひので」にご期待ください！

もっと詳しく知りたい人のために

- ・ <http://www.isas.jaxa.jp/missions/spacecraft/current/hinode.html>
- ・ <http://hinode.nao.ac.jp/>

